

「岐阜県レッドリスト（植物編・動物編）二次改訂版（案）」に対するパブリック・コメント 結果と対応

・ 2名から2件の意見

番号	該当項目	意見の概要	意見に対する県の考え方・対応														
1	岐阜県レッドリスト（動物編）二次改訂版（案） p.19 貝類のイシガイ（種名）について	岐阜県に生息する種はタテボシガイではないか。 近年の研究ではイシガイは日本海側と西日本に生息している種の事を指すと聞いた。	<p>・二次改訂版（案）の段階では、DNA分析の結果が判明していなかったため、イシガイとしていましたが、分析の結果、岐阜県の個体はタテボシとなりました。そのため、ご指摘の箇所を以下のように修正します。</p> <p>【貝類】 絶滅危惧Ⅱ類</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">No.</th> <th style="text-align: center;">目名</th> <th style="text-align: center;">科名</th> <th style="text-align: center;">種名</th> <th style="text-align: center;">学名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">イシガイ</td> <td style="text-align: center;">イシガイ</td> <td style="text-align: center;">タテボシ</td> <td style="text-align: center;"><i>Nodularia nipponensis</i></td> </tr> </tbody> </table>					No.	目名	科名	種名	学名	1	イシガイ	イシガイ	タテボシ	<i>Nodularia nipponensis</i>
No.	目名	科名	種名	学名													
1	イシガイ	イシガイ	タテボシ	<i>Nodularia nipponensis</i>													

番号	該当項目	意見の概要	意見に対する県の考え方・対応
2	<p>岐阜県レッドリスト（動物編）二次改訂版（案）p. 3</p> <p>見直しによりリストから除外された種（動物編）（案）p. 2</p> <p>鳥類について</p>	<p>○チゴモズ、アカモズ</p> <p>チゴモズ、アカモズに関してはかなり以前に確認されているのみであり、近年は継続して生息していない可能性もあると考えられるため、改訂時においては絶滅または情報不足として扱うのが妥当と思われる。</p> <p>○オオジシギ</p> <p>渡り時期においては、大垣市で 2025 年 8 月に生息を確認している。改訂時においては、ランク変更以外に渡りの情報においても記載すべきではないか。</p> <p>○ホオアカ</p> <p>繁殖個体群の減少は著しいと思われるが、越冬個体群は西濃地方等で確認されている。</p> <p>○コサメビタキ</p> <p>養老町において繁殖を確認されている。メッシュの更新をいただくことは可能か。</p>	<p>○チゴモズ、アカモズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チゴモズは、1996 年頃まで高山市内で繁殖が確認されています。 ・アカモズは、1995 年～数年、高山市内で繁殖していたという記録があり、その後 2000 年代にも渡りの途中のものが観察された記録があります。 ・絶滅の基準として「ある程度の調査が行われており、過去 50 年間程度、信頼できる生息の情報が得られていない。」とあり、絶滅または情報不足には該当しないものと考えています。 <p>○オオジシギ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本種は、県内の繁殖地はかなり限定的で、生息数が激減しています。 ・一方 8～9 月頃、県南西部の農耕地を通過する個体が毎年、確認されており、通過個体がいることは把握しています。 ・渡りの情報については、来年度改訂を予定しているレッドデータブックに記載します。 <p>○ホオアカ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見のとおり、越冬期には県南西部で観察され、個体数的にも少ないものの、繁殖地はかなり限定的で、その数は激減しています。繁殖地の保全という観点も考え、「絶滅危惧Ⅱ類」にしました。 <p>○コサメビタキ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年の調査において、本種は県内の丘陵帯山林に広く分布し、繁殖していることが確認されています。そのため二次改訂版においては、ランク外としました。 ・メッシュ図は、レッドリストではなく、レッドデータブックに掲載しておりますが、本種はランク外となりましたので、改訂の際に掲載の予定はなく、メッシュ図の更新は行わないこととなります。